

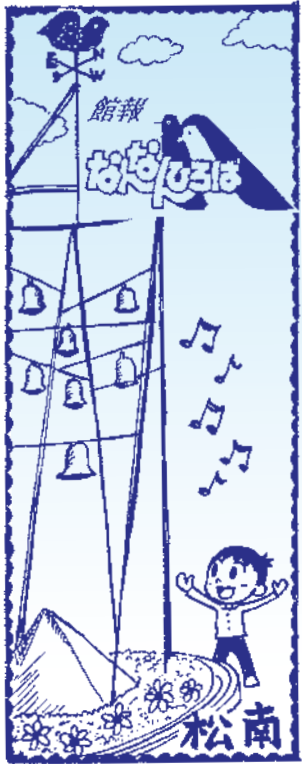
松南地区には、弥生から古墳・奈良・平安時代まで大集落がありました。弘法山古墳は古墳時代に造られ、この集落が造営の一翼を担っていたと言われています。

戦時中は軍需工場があり、南松本駅ができました。軍需工場が撤退した後は、大工場・大型店・公営住宅・個人住宅・マンション・アパートなどが建設され、昭和36年には松南地区が誕生しました。

平成25年7月、出川西遺跡の現地見学会が行われました。それを機に、町会長会、町内公民館長会、館報編集委員会が、松南地区史跡ゾーン整備研究会を立ち上げ、平成26年3月、『松南地区史跡マップ解説書』を発行、なんなんひろば駐車場と東京インテリ



公民館報【南部版】は、庄内地区公民館（夢ひろば庄内）の開館に伴い、平成18年7月30日に分割し、『松南版』『庄内版』第1号が発行されました。以来16年6カ月、本号で第100号となりました。



地区の大きな行事は、地区誕生時に始まった球技大会です。今年3年ぶりに軟式野球・ソフトバレー・卓球等が行われました。そして「なんぶ未来まつり」です。平成5年に第1回が開催されました。当初は全町会が参加したわけではなく、町有志グループの参加もありました。今年30回、現在は全町会が参加しています。会場は、古墳を造った集落があった場所です。

10月の町内公民館長会は、平田里古墳で出土した埴輪のバッチを作成することを決定しました。

(塩原保彦 松南地区 公民館報編集委員長)

松南地区 史跡マップ



松南地区は古墳時代の 大集落に始まる!



『松南地区史跡マップ 解説書』
(平成26年3月22日発行)
松南地区史跡ゾーン 整備研究会

なんぶ未来まつり

子どもに夢と希望を お年寄りに優しさを 地域に親睦の輪を!

なんぶ未来まつり

コロナ禍での開催。
飲酒禁止の祭りでした。



観客を魅了する信明中学校
吹奏楽部の音色



全町会にイオン(旧ジャスコ)から
寄贈された子ども神輿が勢ぞろい。



イオン屋上からの全景。
時間とともに観客が続々と!



「密」を避け、一基のみ巡行



大迫力の自衛隊アルプス太鼓

第30回～祭りの復活～



未来まつりから
ボルダリング選手を出そう!



初登場の「射的」は、大行列の人気!



何が当たるか、ワクワクドキドキ。



松南地区を担う未来の宝。
未就学児の宝探し



カラオケもますます実力アップ!

過去の祭りから



有志参加の名残り
「未来宮田西」看板は、今も健在です。



今は亡き地区の立役者、
大活躍の姿です。



第25回出場の高橋あず美さん。
今や「世界の歌姫」に。